

戸塚 哲夫 議員

洪水タイムラインの普及を

問 計画策定において特に留意した点は何か。

答 防災関係機関が抱える課題について意見交換を行い、それぞれのマニュアルの整合性の確認、修正を行い、実効性の高い計画を目指した。また、情報の発表及び行動の主体が誰かを明確にし、市民の安全確保のため、早めに避難所を開設することなどに留意した。

外来生物の対策は

問 生態系を守るため計画的な駆除が必要では。

答 駆除効果が見込まれるため池や貯水池などにおいて、ミドリガメの駆除を予定している。河川及び水田の実態調査を実施し、個体数の増減を把握し、効果的な駆除方法について検討していきたい。



対策が求められるミドリガメ

ふるさと納税の取り組みは

問 企業版ふるさと納税制度が創設されたが検討状況は。

答 本制度は、国から地域再生計画の認定を受ける必要がある。認定に向けて国と協議してきた。平成31年度まで、年3回の申請時期がある。創生会議ふくろい部会、首都圏部会のメンバー、あるいは、議員からの意見を参考に積極的に取り組んでいきたい。

山田 貴子 議員

ふるさと納税

問 今年度、返礼品の品目を増やしたが、目標額の1億円を達成できるか。

答 5品目から、57品目と拡充に努め、袋井の魅力をお届けできるようになったことをはじめ、ふるさとチョイスのホームページを活用したり、クレジットカード決済を導入した。例年11月から12月にかけて納税額が伸びる傾向にあるため、目標額は達成できると考えている。

高齢化社会に向け

問 「在宅みとり」についてどのように考えているか。

答 在宅医療・介護多職種連携推進会議を立ち上げ、課題解決のための協議を行い、専門職を対象として研修に取り組み、在宅医療の体制づくりを推進していきたい。

子どもの健康

問 排せつ教育は、どのように取り組んでいるか。

答 小学校では、排せつに関する内容を含め、規則正しい生活や、野菜や食物繊維が多く含まれたものを食べ、十分な水分補給等を指導している。トイレの洋式化を鋭意進め、排せつは健康維持に必要であることを認識させ、我慢しないように指導していきたい。



ふるさとチョイスのホームページを使ったPR